

08.学校間の交流に関すること



50代

学校の違いは個性の違い→交流をして互いを知ればいい→（小中）一貫ではなくてもできるのでは

栗山町内を行き来するバスがほしい。
保護者も共働きしている家庭が多くいて自由が利かないので、他の学校の子供たちとの交流の為に必要では。



40代



70代

学校間の交流を積極的に行う。

全学年、1年に1回、他校との交流が出来る場を設けては。



40代



30代

中学校で一緒になるのだから、他校との交流できる機会を増やしたい。友人関係が心配。

角田小学校と合同で修学旅行行ってはどうか。



他校との交流（同学年）を深めるべき。
人数が少なくて出来ないこともあるので角田と合同で
実施しては。リーダー研修もあるが、いきいたい人が対
象となるので、学校発信でしたほうがいい。



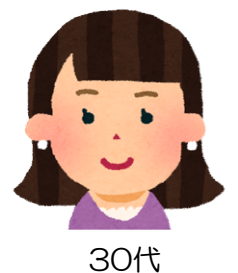
他の学校との交流。
他校への見学。保護者に見ていただいても良いと思
う。



5、6年生で合同キャンプ等の、他校との触れ合う機会
がほしい。



リーダー研修で他校と触れ合える機会を作る。



子ども達が何かを一緒にすることで友達ができるた
め、そのような機会がほしい



角田小学校・継立小学校は修学旅行5・6年生で行くようだが、それなら栗小と一緒に交流深めるためにも一緒に行けばいいと思う。



50代



50代

習い事で別の小学校の人と関わる機会はあるが、限られる人しか機会がない

陸上競技会や、スケート大会等、交流できる大会が自分たちの時代と比較して減っている。



50代



50代

栗小・角小・継小の子どもたちが一緒に交流する時間